

部局名	安全環境部	所属名	清掃センター	所属長名	御園生 悟	電 話	483-4521
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3240		事務事業名称		焼却炉施設管理事業						短縮コード		経常	3240		臨時	3241					
予算区分		会計	01	一般会計			款	04		衛生費			項	02		清掃費			目	02	塵芥処理費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																							
昭和34年に焼却炉施設を設置し一般廃棄物の処理を開始した。 その後、施設の老朽化等により、平成13年度に3号炉の更新、平成14年度の1・2号炉のダイオキシン類恒久対策整備工事等を行い、現在3炉体制で可燃ごみの焼却処理を実施している。																							
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 環境に係る規制の強化に伴い、施設の高度化が今後も進むものと見込まれるが、ごみの再資源化により焼却量の削減や、地球温暖化に係るCO2排出量の削減などが社会的取組みとして要求されている。 このような状況下、本清掃センターでは施設の老朽化が進んでおり、循環型社会形成推進交付金を活用し、平成25年度から28年度の間で焼却炉施設基幹的設備改良事業を計画している。							総 合 計 画 の 施 策 体 系	6本の柱（章）		03		第3章環境共生都市をめざして											
								大項目（節）		02		第2節資源循環型社会の形成											
								中 項 目		01		1. 一般廃棄物											
								小項目（施策）		02		(2)環境に配慮した適正なごみ処理の推進											
								細 項 目		02		②焼却施設等の整備											
実 施 計 画 の 計 画 事 業		3037		焼却炉施設基幹的設備改良事業																			
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～				計 画 事 業 費		千円										

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	焼却炉施設 可燃ごみ						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 焼却施設の安全で安定した運営管理を行った。 また市民及び事業者から搬入される，ごみの監視を行い，不燃物の混入等による設備の故障を未然に防止した。 平成25年度から28年度に計画される基幹的設備等改良工事の発注仕様書作成業務を行い，実施準備を行った。						
	※平成25年度に計画していること： 焼却施設の安全で安定した運営管理を行う。 また市民及び事業者から搬入される，ごみの監視を行い，不燃物の混入等による設備の故障を未然に防止する。 基幹的設備等改良工事については新規に「焼却炉施設基幹的設備改良事業」とし実施を行っていく。 運転管理業務委託は25年度に新規契約となることから仕様の検討を行い，焼却炉の重要部品の購入を仕様を含め，予備部品の確保による適正な維持管理を図る。						
意図 （何を狙っているのか）	可燃ごみに含まれる不燃ごみの排除。 焼却炉施設の適正な運営管理。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						

区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	可燃ごみの搬入量	t	53, 221	46, 704	55, 459	46, 663
	指標 2	焼却炉施設	施設数	3	3	3	3
	指標 3						
活動指標	指標 1	ごみ搬入時一斉検査回数	回	4	72	94	72
	指標 2	焼却施設の不燃ごみによる故障・不具合発生件数	件	124	0	208	0
	指標 3	不燃ごみによる故障に係る修繕料	円	771, 750	0	1, 810, 200	0
成果指標	指標 1	焼却炉（1号炉）の稼働日数	日	271	280	272	280
	指標 2	焼却炉（2号炉）の稼働日数	日	283	280	268	280
	指標 3	焼却炉（3号炉）の稼働日数	日	301	280	319	280
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3240	事務事業名称	焼却炉施設管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			今後の方向性については、運転管理管理業務委託内容に沿い、技術的な能力の向上を図り、高度な施設の計画的な保守点検及び整備体制の確立を図っていく。 平成25年度から焼却炉施設基幹設備改良等事業を予定しており、改良工事の実施内容を踏まえた上、適切な修繕・工事を実施していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			運転管理業務委託の受託者の資質の向上により、施設の老朽化に伴う突発的な故障の事前回避、また緊急対応面の充実を図り、適正な施設運営と共に、維持管理経費の低減に努めていくが、施設の老朽化が著しいため、経費の増加が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特に無し									

所属長コメント	今後も環境への負荷低減及び経費の軽減を念頭に、施設の適正な維持管理に努め、継続して事業を実施していく。また、補修点検及び整備業務等を運転管理委託に含めることにより安定性及び効率性を上げていく。 当該焼却施設の処理能力の回復を図るため、平成２５年度より４ヶ年事業として基幹的設備等改良工事を実施していく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			施設の老朽化に伴う突発的な故障等の事前回避、また、緊急対応面での充実を図り、適正な施設運営に努めること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									